

## 川西航空機器工業株式会社の経営理念

代表取締役社長 深田政宏

社是「共存・共栄」「創造・熱意」「挑戦・変化」は、1950年（昭和25年）12月に大阪府豊中市永楽荘において「豊中電気株式会社」として起業した折に創業者堀正が「起業理念」として掲げたものです。

以来変遷を経て1967年（昭和42年）6月に川西市に拠点を移して、航空機関連部品をこの業界に製造販売する専門業者として創立し1970年（昭和45年）に「川西航空機器工業株式会社」と商号を変更し今日に至っています。その間2005年（平成18年）10月に創業家系列の堀洋二が病を得て退任し、深田政宏が事業を承継して創業以来55年間「堀家の家業」として続けられて来た事業は資本形態を含めて堀家とは無関係の独立した企業の事業として続いています。

深田政宏は事業継承にあたり、「我が川西航空機器工業株式会社は、株主からお預かりしたもので、此処に集う従業員ならびに家族・親族の幸せなる生活の拠点として安定的に発展させ、その利益は3等分して従業員の処遇・株主へのお礼・会社の将来に向けての留保とする」事を宣言しました。

これが社是の「共存・共栄」の根幹であるとも宣言し、創業者が掲げた「起業理念」を経営理念の根幹として引き継ぐ事も宣言しました。

また「共存・共栄」を永続させ繁栄させるためには、「昨日より今日・今日より明日」を「創り続ける熱意」が必要でありそれが「創造・熱意」で表される言葉です。

そして真理とされる森羅万象生き残りの原則は「状況に即応して変化しうるもの」のみ生き残れると言う事です。

企業が永続性を持ち得るか否かは、変化を読み果敢なる挑戦を続けることが出来るか否かに懸かっています。その永続性を確固たる事実にするための目標が「挑戦・変化」です。

「起業理念」として掲げられた社是「共存・共栄」「創造・熱意」「挑戦・変化」の意図する所を理解して経営の根幹として行きます。